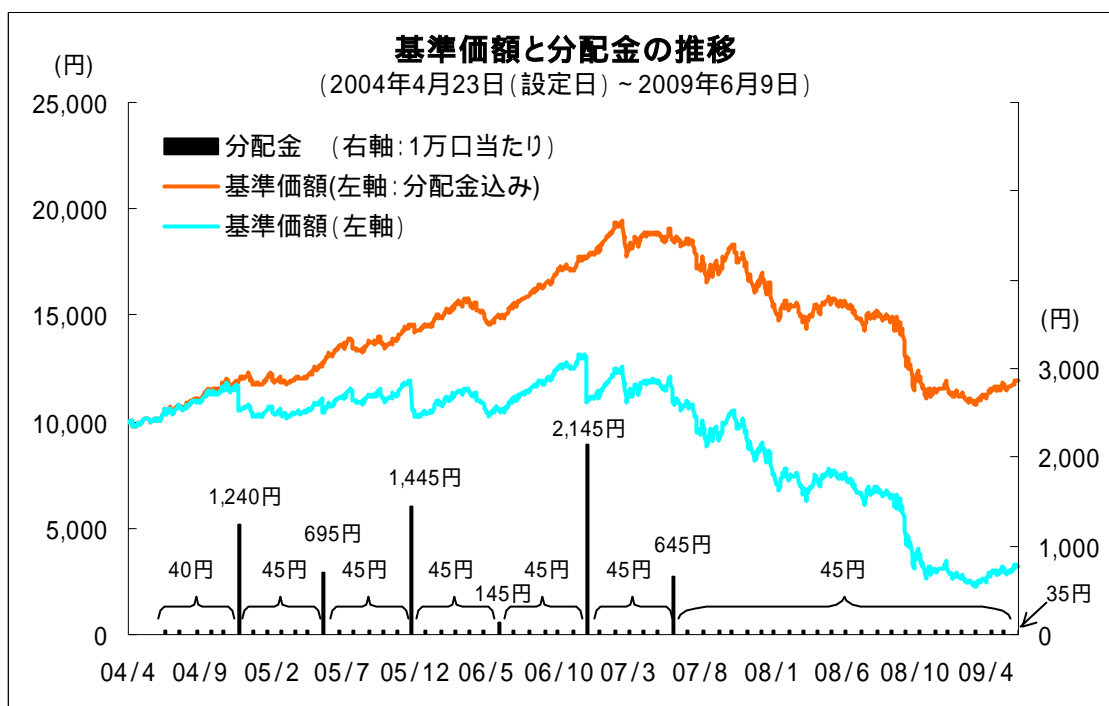


「DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)

(愛称:世界家主俱樂部)の第 60 期分配金について

平素は、弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社運用の投資信託「DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)(愛称:世界家主俱樂部)」は、第 60 期(2009 年 6 月 9 日決算)の分配金を 35 円(1 万口当り、税引前)といたしました。



(注 1) 上記のグラフは過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

(注 2) 基準価額は信託報酬控除後の 1 万口当りの値です。また、分配金は税引き前の値です。

(注 3) 分配金込み基準価額は、基準価額と税引き前分配金を合計した理論上の値です。

当ファンドの分配金額は、第 7 期(2005 年 1 月 11 日決算)から 4 年以上にわたって 45 円を続け、第 60 期(2009 年 6 月 9 日決算)までの累計分配金は 8,710 円となりました。

6 月 9 日現在の基準価額は 3,232 円、分配込みの基準価額は 11,942 円となっています。

当資料は 10 枚ものです。P9 の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

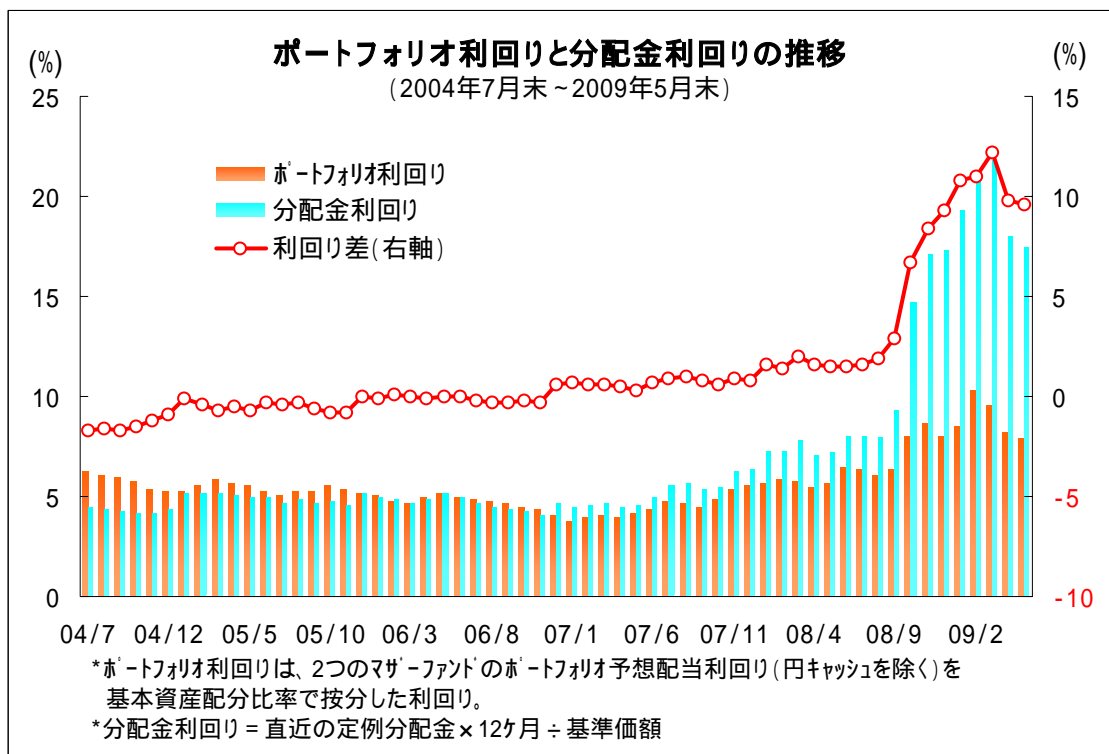
商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 324 号

加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

海外リート市場は、昨年後半以降、欧米金融機関の経営破綻による信用不安の拡大や、米大手小売企業の経営破綻などを背景とする不動産市況の悪化などによって下落しました。さらに、円高が進行したことで当ファンドの基準価額も大幅に下落しました。加えて、海外リーートの減配と円高によって、当ファンドが受け取る円換算の配当等収益も低下しています。

当ファンドのポートフォリオ利回りと分配金利回り(分配金を年率換算して基準価額で割った値)を見ると、2009年5月末現在、ポートフォリオの利回りは7.87%、分配金利回りは17.47%となり、乖離が拡大している状態が続いています。



(注)上記のグラフは過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

このような状況の中で、当ファンドの収益力に応じた分配を行うことが、受益者の皆様の利益につながると判断し、分配金を従来の45円から第60期決算時に35円(1万口当り、税引前)に引き下げました。

なお、分配金に関する「Q & A」を作成致しましたのでご参考頂ければと思います。

何卒、ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

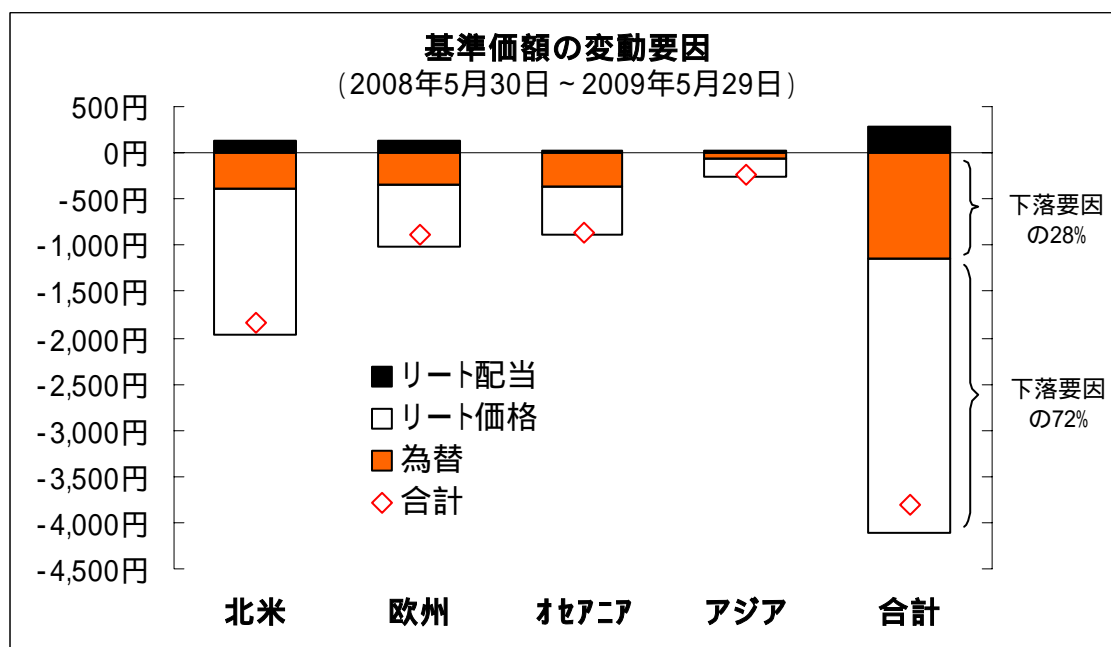
【Q & A編】

- Q1. ファンドの基準価額の推移は？
 Q2. なぜ分配金を下げたのですか？
 Q3. 基準価額と分配金との関係は？
 Q4. 分配原資とはどのようなものですか？
 Q5. 分配金が少ないのは悪いファンドですか？
 Q6. 今後、分配金を変更することはありますか？
 Q7. 海外リート市場および為替相場の今後の見通しは？

Q1. ファンドの基準価額の推移は？

A. 当ファンドは2004年4月23日に設定され世界的な景気好調を背景に上昇を続けましたが、2007年から下落傾向となり、昨年のリーマン・ショック以降の世界的な金融危機が下落に拍車を掛けました。海外リート市場が下落したことに加えて、組入通貨の多くが円に対して下落したことも基準価額にはマイナス要因となりました。

2008年5月30日の基準価額は7,518円でしたが、2009年5月29日に3,091円まで値下がりしています。この間、基準価額の変動要因(信託報酬、分配金を除く)は以下のように、基準価額下落要因のうち為替要因が28%、リート価格要因が72%となっています。



当資料は10枚ものです。P9の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等：DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会：(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

Q2. なぜ分配金を下げたのですか？

A. 分配金は第1期(2004年7月9日決算)より每期安定してお支払いし、過去に6回、売買益を原資とするボーナス分配を行いました。第60期(2009年6月9日決算)は、現在の基準価額や配当等収益の水準、運用状況等を勘案して、第59期の45円から35円に引き下げました。

今回の分配金引き下げは、基準価額が大幅に下落したことや、海外リート市場の下落や円高の進行を勘案し、ファンドの収益力に見合った分配水準とするためのものです。

Q3. 基準価額と分配金との関係は？

A. 基準価額と分配金はそれぞれが個別のものではなく、あわせて考える必要があります。分配金をお支払いする場合はファンドの運用資産から払い出しますので、分配金に相当する金額分、基準価額が下落することになります。ファンドの基準価額は、投資している資産の時価を評価して算出しており、ファンドの運用により得られた売買損益(評価損益が含まれます)や利子・配当収益等が反映されています。分配金は、基準価額の水準や組入資産の収益動向、市況環境、分配原資の状況等を総合的に判断し決定しています。分配金は、ファンドの運用により得られた収益を受益者の皆さまに還元する手段の一つです。

Q4. 分配原資とはどのようなものですか？

A. 分配が可能な原資は、分配原資と呼ばれています。分配原資は社団法人投資信託協会の規則で定められた計算方法によって算出されたもので、この分配原資を上回って分配することはできません。分配原資は大きく分けて、経費控除後の利子・配当収入、経費控除後の売買益(評価益を含みます。)、繰越分配可能原資(分配準備積立金と追加信託差損益金)から構成されています。なお、繰越分配可能原資は、主として前期以前から繰り越されたものです。

Q5. 分配金が少ないのは悪いファンドですか？

A. 分配金が多い、あるいは少ないというだけで、ファンドの良し悪しを語ることはできません。投資家の皆様の投資収益は、投資期間中に受け取られた分配金の累計額と投資期間における基準価額の騰落額をあわせて考える必要があります。したがって、ただ分配金が高いということだけでは投資成果が高いとはいえ、基準価額の動向も考慮する必要があります。仮に、分配金の引き下げにより受取分配金の金額が減少しても基準価額が上昇すれば、投資成果は必ずしも低下することにはなりません。

当資料は10枚ものです。P9の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

Q6. 今後、分配金を変更することはありますか？

A. 分配金は、収益分配方針にもとづいて基準価額水準や市況動向等を勘案して決定しています。このため、あらかじめ一定の金額のお支払いをお約束できるものではなく、今後も基準価額水準や市況動向によって見直しが必要であると判断される場合には分配金の変更を行うことがあります。

Q7. 海外リート市場および為替相場の今後の見通しは？

A. **海外リート市場**

米国 REIT 市場については、クレジット市場の改善傾向からリスク許容度は若干回復していることや、相次ぐ増資や借換えの成功から資金調達環境についても最悪期を脱したとの見方がありますが、未だ流動性確保のため減配を発表する REIT もあり、依然として流動性確保が REIT の最重要課題である様子が見受けられます。不動産市況は、雇用削減による賃貸需要減、テナント企業の破綻から悪化は続いている状況ですが、住宅販売市場では一部底打ちの兆しが見られる地域もあり、今後も賃貸市況悪化の度合いを注視していきます。米国以外の地域についても、マクロ経済指標の改善を受けたグローバルでの景気底打ち期待から、過度な信用リスク懸念は後退してきました。欧州は、英国 REIT も増資の成功により借換えリスクの後退や、グローバルな株価上昇に連動して楽観的な見方が広がっていますが、上昇一巡後は不動産市況、テナント倒産リスクなどに焦点がシフトするものと思われます。豪州は、資本増強の動きが一巡、財務リスクのいくらかの後退から、非中核資産を売り急ぐ必要のなくなった REIT も出てきています。

為替市場

為替市場につきましては、足許のドル安進行は、米国の財政悪化を嫌気したドル離れという悪い側面のドル安と、経済の先行きに楽観的な見方が広がり、リスク志向が強まって投資資金が米国外に向かうという、良い側面のドル安が相半ばしている状況です。そのため、ドルの代替としてユーロが買い進められると同時に、先進国の中で相対的に高い金利水準が維持され、底堅く推移している商品市況の影響をうけた豪ドルが、対ドル、対円で大きく上昇しています。とはいえ、足許のドルの下落、ユーロ・豪ドルの上昇には過熱感が高まっており、利食いなども持ち込まれやすいため、当面ポジション調整からドルの下落、ユーロ・豪ドルの上昇に一服感が広がる可能性があります。

(2009年5月29日現在)

以上

【補足資料】

過去1年の繰越分配可能原資(1万口当たり)の内訳の推移(第49期～第60期)

	第49期 (2008/7)	第50期 (2008/8)	第51期 (2008/9)	第52期 (2008/10)	第53期 (2008/11)	第54期 (2008/12)	第55期 (2009/1)	第56期 (2009/2)	第57期 (2009/3)	第58期 (2009/4)	第59期 (2009/5)	第60期 (2009/6)
配当等収益	64円	21円	14円	25円	16円	13円	27円	17円	4円	25円	21円	9円
配当等収益(経費控除後(*1))	54円	20円	5円	17円	10円	9円	26円	13円	1円	25円	20円	9円
有価証券売買等損益(*2)	(693円)	214円	(206円)	(2,001円)	(803円)	(573円)	155円	(421円)	(503円)	523円	483円	69円
有価証券売買等損益 (経費控除後(*1)、繰越欠損金補填後)	(693円)	0円	(206円)	(2,001円)	(803円)	(573円)	0円	(421円)	(503円)	0円	0円	0円
決算前 分配準備積立金	125円	133円	109円	68円	40円	5円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
決算前 追加信託差損益金 (配当等相当額)	1,410円	1,411円	1,411円	1,411円	1,412円	1,412円	1,381円	1,362円	1,330円	1,286円	1,266円	1,242円
前期からの繰越分配可能原資(*3)	1,535円	1,544円	1,520円	1,479円	1,451円	1,417円	1,381円	1,362円	1,330円	1,286円	1,266円	1,242円
決算前 分配可能原資	1,589円	1,565円	1,524円	1,496円	1,462円	1,426円	1,407円	1,375円	1,330円	1,311円	1,287円	1,251円
収益分配金(1万口当たり・課税前)(*4)	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	35円
決算後 繰越分配可能原資	1,544円	1,520円	1,479円	1,451円	1,417円	1,381円	1,362円	1,330円	1,285円	1,266円	1,242円	1,216円
分配落ち後基準価額	6,650円	6,830円	6,584円	4,554円	3,714円	3,100円	3,233円	2,773円	2,223円	2,734円	3,201円	3,232円

上記はあくまでも過去の実績であり、将来の成果をお約束するものではありません。

各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

収益分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

(*1) 経費(信託報酬、監査費用等)は、配当等収益と有価証券売買益から按分控除されます。有価証券売買損益がマイナスの場合は、配当等収益からのみ控除されます。

(*2) 有価証券売買損益には、売買による実現損益のほかに評価損益も含まれます。有価証券売買損益がマイナスの場合は期末に繰越欠損金として計上され、プラスの場合は前期までの繰越欠損金を補填し、収益分配金支払い後、分配準備積立金に積み立てられます。

(*3) 繰越分配可能原資とは、分配に活用できると定められた原資(分配準備積立金と追加信託差損益金(配当等相当額))の総称で、ファンド資産(基準価額)の一部に含まれます。追加信託差損益金とは、追加設定があった際に既存受益者と新規受益者との間に不公平が発生しないよう調整するための勘定です。

(*4) 収益分配金(1万口当たり・課税前)は、外国所得税控除額込みです。

当資料は10枚ものです。P9の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

商品の特色(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

日本を除く世界各国の不動産投信等(REIT)を主要投資対象とします。

DIAM US・リート・オープン・マザーファンドおよびDIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、主として日本を除く世界各国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等(REIT)に投資します。

不動産投信等(REIT)への投資を通じて安定的に配当を獲得することを目標として運用します。

信託財産の着実な成長と世界各国の不動産投信等(REIT)への投資を通じて安定的に配当を獲得することを目標とします。なお、原則として為替ヘッジは行いません。

毎月9日(休業日の場合は翌営業日。)に決算を行い、原則として配当等収益を中心に安定した収益分配を継続的に行うことを目指します。また、毎年6月、12月の決算時には、原則として配当等収益に売買益(評価益を含みます。)等を加えた額から分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わない場合があります。

運用に関する権限は、デビス・セレクトド・アドバイザーズ(米国)およびコロニアル・ファースト・ステート・アセット・マネジメント(豪州)に委託します。

主なリスクと費用(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているものを要約したものです。

その他の留意点など、詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

価格変動リスク	実質的に投資対象とする不動産の価値および当該不動産による賃貸収入等の変動により、当ファンドの基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。
為替リスク	当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。
金利リスク	一般的に金利が上昇すると不動産投信等(REIT)の価格は下落します。当ファンドは、実質的に不動産投信等(REIT)に投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。
流動性リスク	実質的に投資した不動産投信等(REIT)によっては、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかつたり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。
信用リスク	実質的に投資対象とする不動産投信等(REIT)が、収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用はお申込手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料は10枚ものです。P9の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等 : DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース) (愛称：世界家主倶楽部)
追加型投信 / 海外 / 不動産投信 / 自動けいぞく投資運用
お申込みメモ(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

お申込み	お申込みの受付は、原則として販売会社の毎営業日に行われます。 受付は、原則として午後3時まで(年末年始など、わが国の金融商品取引所が半休日の場合には、午前11時まで。)といたします。 受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお取扱いとなりますのでご注意ください。 ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、オーストラリアの証券取引所の休業日またはオランダ、フランス、イギリスの祝祭日に該当する日(以下「海外休業日」といいます。)には受付を行いません。
お申込単位 (当初元本1口=1円)	各販売会社が定める単位 「分配金受取コース」および「分配金自動けいぞく投資コース」によるお申込みが可能です。 お申込みになる販売会社によっては、どちらか一方のコースのみのお取扱いとなります。 お申込単位および取扱コースについては、販売会社にお問い合わせください。
お申込価額	お申込日の翌営業日の基準価額
ご換金	ご換金の受付は、原則として販売会社の毎営業日に行われます。 受付は、原則として午後3時まで(年末年始など、わが国の金融商品取引所が半休日の場合には、午前11時まで。)といたします。 受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお取扱いとなりますのでご注意ください。 海外休業日には受付を行いません。 大口の換金請求に制限を設ける場合があります。また、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、受付を中止することおよび受付を取り消すことがあります。
ご換金単位	各販売会社が定める単位
ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額(ご換金申込日の翌営業日の基準価額の0.3%)を差し引いた価額
ご換金代金受渡日	原則としてご換金申込日から起算して5営業日目からお支払いします。
信託期間	無期限です。(当初設定日：平成16年4月23日)
繰上償還	受益権口数が10億口を下回った場合等には、償還することがあります。
収益分配	月1回の決算時(原則として毎月9日、休業日の場合には翌営業日。)に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 「分配金受取コース」原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。 「分配金自動けいぞく投資コース」税引後、自動的に無手数料で全額再投資されます。 分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
課税関係	当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となる場合があります。

お客様にご負担いただく費用について(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

以下の手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込時	
お申込手数料	お申込価額に3.15%(税抜3.0%)を上限として各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 くわしくは販売会社にお問い合わせください。
ご換金時	
ご換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。
保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年率1.659%(税抜1.58%)を日々ご負担いただきます。
その他の費用等	信託事務の処理に要する費用、監査報酬、有価証券などの売買にかかる手数料、外貨建資産の保管に要する費用などが信託財産から支払われます。なお、受託会社の立て替えた立替金の利息、借入金の利息がかかる場合は、当該費用が信託財産から支払われます。(その他の費用等については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。) なお、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

照会先

- ・委託会社のホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>
- ・委託会社の電話番号 03-3287-3111 受付時間：午前9時～午後5時(除く土、日、祝祭日。半休日の場合は午前11時まで。)

当資料は10枚ものです。P9の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

 商号等：DIAMアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会：(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース) (愛称：世界家主倶楽部)
 追加型投信 / 海外 / 不動産投信 / 自動けいぞく投資適用

委託会社その他関係法人の概要

委託会社	DIAMアセットマネジメント株式会社 (信託財産の運用指図等を行います。)
受託会社	みずほ信託銀行株式会社 (信託財産の保管・管理業務等を行います。なお、受託会社は信託事務の一部につき資産管理サービス信託銀行株式会社に委託することができます。)
販売会社	次頁の販売会社一覧をご覧ください。 (募集の取扱いおよび販売、投資信託説明書(目論見書)・運用報告書の交付、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の再投資、収益分配金、一部解約金および償還金の支払いに関する事務等を行います。)
投資顧問会社	デービス・セレクトド・アドバイザーズ コロニアル・ファースト・ステート・アセット・マネジメント (委託会社との投資一任契約に基づき、デービス・セレクトド・アドバイザーズはDIAM US・リート・オープン・マザーファンドの信託財産の運用指図等を、コロニアル・ファースト・ステート・アセット・マネジメントは、DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドの信託財産の運用指図等を行います。)

投資信託ご購入の注意

証券投資信託は、

預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については、元本保証および利回り保証のいずれもありません。

投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当ファンドのお申込みに際しては、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)をあらかじめお渡しいたしますので、必ず詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

本資料のお取扱いについてのご注意

本資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が独自に作成した販売用資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。

当ファンドのお申込みに際しては、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)をあらかじめお渡しいたしますので必ず詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

本資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性等について同社が保証するものではありません。また、掲載データ等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

本資料に記載されている分配金込み基準価額は、基準価額と税引き前分配金を合計した理論上の値です。

本資料の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

当ファンドは、実質的に不動産投信等(REIT)などの値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資をします。市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

当資料は10枚ものです。P9の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等：DIAMアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会：(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

DIAMワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース)(愛称:世界家主倶楽部)

追加型投信/海外/不動産投信/自動けいぞく投資適用

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

印は協会への加入を意味します。

2009年6月9日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	社団法人投資信託協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	社団法人金融先物取引業協会	備考
株式会社みずほ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第3号					
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号					
ソニー銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号					
イーバンク銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第609号					
株式会社みちのく銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第11号					
株式会社東邦銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第7号					
株式会社足利銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第43号					
株式会社常陽銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第45号					
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号					
株式会社第四銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第47号					
株式会社八十二銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第49号					
株式会社福井銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第2号					
株式会社三重銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第11号					
株式会社京都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第10号					
株式会社泉州銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第12号					
株式会社池田銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第6号					
株式会社紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第8号					
株式会社但馬銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第14号					
株式会社鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第3号					
株式会社阿波銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第1号					
株式会社百十四銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第5号					
株式会社琉球銀行	登録金融機関 沖縄総合事務局長(登金)第2号					
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第6号					
株式会社北洋銀行	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第3号					
株式会社東和銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第60号					
株式会社大正銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第19号					
株式会社長崎銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第11号					
第一生命保険相互会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第115号					
東京海上日動火災保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第135号					
オリックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第55号					
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号					
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第65号					
三菱UFJ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第179号					
ジョインベスト証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第91号					
そしあす証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号					
東武証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第120号					
トレイダーズ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第123号					
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号					
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第129号					
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号					
日産センチュリー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第131号					
日本インベスターズ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第132号					
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第170号					
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号					
廣田証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第33号					
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号					
三木証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第172号					
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号					
オリックス信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第11号					1

<備考欄について>

1 新規募集の取扱い及び販売業務を行っておりません。

(原則、金融機関コード順)

当資料は10枚ものです。P9の「本資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMアセットマネジメント

商号等: DIAMアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会: (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会